

第5次エコ・オフィスおごおり 実績報告書（2024年度）

<エコ・オフィスおごおりの概要と達成状況>

- (1) 趣 旨

近年、地球温暖化が原因とされる異常気象が世界各地で頻発し、国家の枠組みを超えて地球温暖化への対策が急務となっています。2015年には京都議定書以来18年ぶりに、温室効果ガス排出量の削減を国家に義務付ける「パリ協定」が国連で採択され、日本もすでに批准しています。
小郡市役所も行政に携わるものの責務として、市民に率先して地球温暖化防止に向けた省エネ・節電の取り組みを推進する必要があります。
- (2) 目 標

2030年度の温室効果ガス排出量を、2013年度比で51%削減する
- (3) 中間目標

2025年度の温室効果ガス排出量を、2013年度比で33.8%削減する
- (4) 達成状況

温室効果ガス（二酸化炭素）の総排出量

	総排出量(t-CO ₂)	状況
2024年度	3,014	エコ・オフィスおごおり(第5次計画)における温室効果ガスの削減目標は、国の削減目標に準じるが、目標年度の2030年度まで年数があるため、2025年度を中間目標として設定し、温室効果ガス排出量を年平均2.5%ずつ削減することを求めている。 中間目標に基づく2024年度の削減目標は、基準年度比30.6%の削減に対し、基準年度比29.7%の削減だった。 仮に排出係数が基準年度と変わらなければ温室効果ガス排出量は4,532t-CO ₂ となり、基準年度比で5.6%の増加となる。 排出係数は原発の稼働状況に左右され、その原発も将来にわたって稼働し続けるかは不透明なこともあり、排出係数が下がらずとも目標を達成できるようエコ・オフィスに取り組む必要がある。
基準年度 (2013年度)	4,289	
基準年度比	-29.7%	
中間目標 (2025年度)	2,839	

※排出係数は、最新（2023年度）のデータを使用しています。

(5) 各項目の使用状況

	電気使用量	水道使用量	紙使用枚数
2024年度	5,597,639 kWh	89,085 m ³	12,681,407 枚
前年度 (2023年度)	5,447,854 kWh	91,103 m ³	10,281,017 枚
前年度比	2.7%	-2.2%	23.3%
基準年度 (2013年度)	5,214,992 kWh	115,041 m ³	6,401,994 枚
基準年度比	7.3%	-22.6%	98.1%